

〈おんだより〉2024・1がつ No.1

あけましておめでとうございます。今年度もあと3ヶ月、さくらぐみが飛び立って行きます。大事な日々をみんなでご過ぎていこうと思います。よろしくお願ひいたします。下の龍は彫刻家敷内佐斗司さんの作品です。龍の上に童子がのっています。童子=子どもではありませんか。やぶうちさんの言う童子とは、科学が解きあかそうとしている目には見えないウヤ存在を文学的に表したものが「童子」なのだと思います。なんか子どもの存在・子ども本来の姿と共通する所があります。子どもの存在で私たち大人は、ほぐかされることば、たくさんあります。大人は子どもより(上)という上から目線をさげる努力(思いをおさえる)をすれば、もっとたい子どもの姿と自分自身が見えてくると思います。なかなかなかむおかしくてすぐに感情的になり、子どもの姿見失ってしまいが、おんのおんのおんをおさえるしかないみたいですが、あの澄みきった目で見つめられると「すみません」と口から出てきます。



1月の予定
25日(木) 誕生会
26・27・28・御生忌報恩講 親鸞聖人に感謝する行事です。
26日(金) 子どもたちも報恩講に参加します(3・4・5才)
○子ども報恩講・本堂にお参りして、お斎(精進料理)をいただきます。
コロナでお寺でいただくお斎はなくなりましたが、保育園でお斎を作ってもらいます。
年長児は、輪島のおはしで食べます。
このたびの震災でいつもおたのみしている輪島のお店がどうなっているのか心が痛みます。
1月の土曜1日希望保育は、6日 13日 20日です。
1月は、2月17日の保育発表会に向けての日にしたいと思います。「子どもも大人もたのしい発表会」ゆっくり楽しく進めていきます。お家でもゆっくり楽しく、朝おき、早寝を習小慣化して(親見も子も努力)がんばっている子をフェー(子どもも忘れなく！) (子どもの力になります)

龍笛童子・やぶうちさとし作